

2018年12月27日
日本生命保険相互会社

豪州での陸上風力発電プロジェクトへの融資について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、豪州南オーストラリア州で風力発電プロジェクト（以下「当プロジェクト」）を実施する Hallett 4 Pty Limited に対し、約 44 百万豪ドル（約 35 億円）のシンジケートローン（以下「当融資」）を実行しました。なお、当社はシンジケートローンの組成段階から参加しています。

当プロジェクトは、豪州南オーストラリア州アデレードの北方 220km に位置するノースブラウンヒルにおいて、発電容量 132.3MW の陸上風力発電設備を運営するものであり、発電設備は 67,000 世帯に電力供給する能力を有します。

当融資は、発電設備の安定運営のために借換資金を提供するものであり、長期間にわたって魅力的な利回りの獲得が期待できます。また、当融資は当社初の豪州における風力発電プロジェクトへの取組みとなります。

当社は中期経営計画「全・進-next stage-」（2017-2020）において、4 年間で成長・新規領域へ 2 兆円、うち ESG 債等へ 7,000 億円の投融資を目標としており、豪州における再生可能エネルギーの活用拡大を支える当融資も、ESG 債等の一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、成長・新規領域および ESG 投融資を強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<案件概要>

企業名	Hallett 4 Pty Limited 出資企業：Infrastructure Capital Group Limited：39.9% 大阪ガス株式会社：39.9% APA Group：20.2%
調印日	2018年12月20日
当社融資額	約44百万豪ドル（約35億円）

<施設概要>

所在地	豪州南オーストラリア州ノースブラウンヒル
発電会社	Brown Hill North Pty Limited
主要施設	風車タービン（2.1MW×63基）、変電設備、ケーブル等
発電容量	132.3MW
竣工	2011年5月

<風力発電設備>



（提供：Hallett 4 Pty Limited）

<当社の取組とSDGsの関係>

当社では、お客様、地域・社会等の様々なステークホルダーとの対話を通じて、社会からの期待や社会的課題に対する認識を深めるとともに、あらゆる企業活動においてバリューチェーン全体を通じて“安心・安全で持続可能な社会”の実現に貢献し、企業価値の向上を目指しています。取組にあたっては、ステークホルダーからの期待と当社事業との関連性の両軸から選定した「サステナビリティ重要課題」に重点を置き、サステナビリティ経営を推進しています。

2018年度の取組としては、持続可能な社会の実現に向けた体制を強化するために、経営会議の諮問機関として「サステナビリティ経営推進委員会」を立ち上げました。また、SDGs達成に向けては、国連関連機関が発行したSDGsの企業行動指針「SDG Compass」に則って取組を進めており、「優先課題の決定」ステップとして、①事業戦略との整合性、②日本生命ならではの貢献ができるか、③サステナビリティ重要課題との関連性、④SDGs達成への貢献度（インパクト）の4つの視点から10ゴールを選定しました。そのうえで、パリ協定の発効などの国内外の潮流や意識の変化を受けて、「すべての人々の人権を尊重する経営」と「気候変動問題への取組」の2項目を追加し、18項目のサステナビリティ重要課題を特定しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



<今回の案件と関係の深い SDGs 目標>

目標7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

(例)

- ・世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を拡大させる。
- ・クリーンエネルギーの研究および技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラ等への投資を促進する。



目標13：気候変動に具体的な対策を

気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

(例)

- ・気候変動対策を国別の政策、戦略および計画に盛り込む。



以上